

■新一般廃棄物処理施設の整備



新たに整備している施設の概要となります。

1.新施設の概要

焼却施設		リサイクル施設	
処理方式	ストーカ方式	破砕設備	低速回転破砕機 +高速回転破砕機
処理能力	124t/24h (62t/24h×2炉) 動物炉 1炉	処理能力	21t/5h
タービン定格出力	3,690kW	ストックヤード	約440㎡
発電効率	24.2%		
バイオガス化施設		污泥再生処理センター	
発酵設備	乾式メタン発酵設備 (横型)	水処理設備	膜分離高負荷脱窒素処理
処理能力	25t/日	処理能力	83kl/日 ※し尿10kl、 浄化槽污泥33kl、 バイオガス化施設分離水40kl
発電出力	242kW	污泥処理設備	污泥助燃剤化方式

2.事業契約の内容

事業名称：湖北広域行政事務センター新一般廃棄物処理施設整備運営事業
 場所：長浜市木尾町字込田他
 契約相手：湖北ハイトラスト株式会社 代表取締役 坂上 浩之
 期間：令和5年3月25日から令和28年3月31日まで
 事業方式：PFI手法BTO方式（起債適用型）
 事業概要：本事業は、PFI法に基づき、特定事業として、PFI手法のBTO方式（起債適用型）により実施するもので、湖北広域行政事務センター新一般廃棄物処理施設を設計・建設し、これを維持管理・運営するとともに、新一般廃棄物処理施設の稼働後に、現焼却施設（クリスタルプラザ）の解体工事を行うこととしています。

3.施設集約型(一極集中)の整備

従来型の施設
…各施設をそれぞれの場所で整備を実施

特徴

- 各施設ごとに管理棟の設備や計量機が必要
- 各施設間の物質の輸送に時間とコストがかかる

今回の施設
…同一敷地内にそれぞれの施設を集約し、施設間の連携を図った施設整備を実施

特徴

- 本来各施設ごとに必要な管理棟、計量機の集約
- 各設備の連携により、建設コストを削減
- 場内動線の共有化による敷地面積の縮小
- 各施設間での物質の移動が容易
- 複数施設の見学が可能となり、廃棄物処理の総合学習による環境意識の向上

エコパーク湖北

バイオガス化施設 + 焼却施設

同一敷地内

■管理棟 ■排水処理設備 ■計量機 ■発電設備

污泥再生処理センター リサイクル施設

4.バイオガス化施設の概要

